

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間： 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立歴史文化にぎわいプラザ	
(2) 施設の設置目的	
堺の歴史・文化資源の紹介を通じて、本市の魅力ある文化を発信し、及び振興することにより、都市魅力の向上及びまちのにぎわいの創出を図るため	
(3) 所管部局	
文化観光局 文化国際部 文化課	
(4) 指定管理者名	
SAKAI縁プロジェクト (公益社団法人堺観光コンベンション協会、大阪ガスビジネススクリエイト株式会社、南海ビルサービス株式会社)	
(5) 指定期間	
令和 2 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで (5 年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none">施設の管理運営に関すること施設を活用した集客・にぎわい創出業務を行うこと施設をはじめとした市に関する広報・プロモーション業務を行うこと茶の湯体験施設等を活用した茶の湯文化体験事業を行うこと避難誘導訓練を行い、緊急時の対応に備えること施設設備の維持及び修繕等、保守管理に関すること	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
文化・教育施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
<ul style="list-style-type: none">千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館、観光案内展示室:9時00分から18時00分まで茶の湯体験施設:10時00分から17時00分まで	<ul style="list-style-type: none">千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館、茶の湯体験施設:第3火曜日(祝日の場合は翌日)及び毎年12月29日～1月3日観光案内展示室:毎年12月29日～1月3日
(10) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	b	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	a	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	a	a
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	a	b
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	b	b
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	b	b

イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> 当施設は津波避難ビルとして指定されているため、津波発生時の対応を職員に共有した。 年2回の防火訓練時には、火災だけではなく、地震や津波を想定した訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な施設運営を目的に、ヒヤリハット活動、危険予知活動を実施し、管理運営における危険性の感受性向上に努めていた。 修繕、点検を都度実施し、施設・設備の維持管理業務を行った。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	SAKAI縁プロジェクト	SAKAI縁プロジェクト	SAKAI縁プロジェクト
利用者数(単位:人)	203,138	203,584	214,179
稼働率(単位:%)	26.2(講座室)	35.2(講座室)	33.4(講座室)
利用者満足度(単位:%)	97.0	97.0	89.7

イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	b	b
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	a	b
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	b	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
利用者アンケートだけではなく、直接お客様と接するアテンダントに日々の意見を聴取し、会議などで共有を行い、意見を反映させるよう取組をおこなった。尚、令和6年度よりアンケートの集計方法を変更(無回答を母数に入れる)したため、満足度が前年より低下している。	来館者からのご意見やご要望を記録し、会議で共有、日々の運営の参考として運営している。令和6年度は、令和5年度より多くイベントを実施したため、利用者数が増加傾向にあった。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■指定管理業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		SAKAI縁プロジェクト	SAKAI縁プロジェクト	SAKAI縁プロジェクト	SAKAI縁プロジェクト
収入	指定管理料	216,357,360	216,564,300	216,002,904	216,000,000
	利用料金	41,679,598	37,950,703	38,667,895	64,100,000
	負担金	0	0	0	0
	その他	8,559,957	2,409,910	2,025,125	1,000,000
	合計	266,596,915	256,924,913	256,695,924	281,100,000
支出	人件費	99,727,171	103,304,759	94,864,491	112,100,000
	委託料	19,115,060	19,816,666	19,518,189	21,851,100
	総支出額に占める 委託料の割合	7.2%	7.5%	7.4%	7.8%
	修繕費	3,001,624	3,411,326	3,002,857	3,000,000
	光熱水費	16,514,134	12,623,620	16,329,609	16,900,000
	その他	128,533,476	124,166,778	128,604,745	127,248,900
	合計	266,891,465	263,323,149	262,319,891	281,100,000
収支差額		-294,550	-6,398,236	-5,623,967	0
(市への納付金の額)		0	0	0	0

■自主事業

(有)

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収入		37,831,855	23,199,899	18,036,549	23,200,000
支出		31,145,544	19,877,883	15,911,228	20,384,000
収支差額		6,686,311	3,322,016	2,125,321	2,816,000
(市への納付金の額)		-	-	-	-

イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	b	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	b	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	b	b
経理事務は適正に行われているか。	b	b

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
利用料金収入の増加や人件費の見直し等は図れたものの、利用料金収入の目標未達成に加えて光熱水費の高騰等により支出が増加したため、収支はマイナスとなった。収支改善のため、有料利用者の増加に取り組む。	予算より支出額は抑えられたが、利用料金収入が当初予算計画より大幅に減少し、収支はマイナスとなったため、プロモーション活動の強化など、誘客のための取組強化や改善が求められる。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
集客・賑わい創出業務の実施件数(100名以下)	年間20件以上	年間34件
集客・賑わい創出業務の実施件数(100名以上)	年間4件以上	年間21件
グッズショップの運営を除く自主事業の実施件数	グッズショップの運営を除く自主事業の実施	2件

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
年間来館者数	30万人以上	214,179人
有料来館者数	9万人以上	55,344人
来館者満足度	80%以上	89.7%

■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	50,000千円以上	38,668千円

イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・集客・賑わい事業の実施数は大幅に目標を超えており、来館者満足度も目標達成している。 ・年間及び有料来館者数の達成に向けては、当初予定していた「集客・賑わい創出事業(100名以下)」を「集客・賑わい創出事業(100名以上)」に変更する等集客に努めたが、目標達成にはつながらなかった。 ・次年度は来館者数及び利用料金収入増加に向けた取組(団体客の誘客、施設知名度向上のためのプロモーション等)を行いたい。 	<p>年間来館者数、有料来館者数、利用料金収入は、目標未達成であるため、目標達成に向け、プロモーション活動の強化など、誘客の取組強化が必要であった。</p>

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

評価	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数や利用料金収入は目標未達成ではあるものの、年間来館者数は令和5年度比105.2%、有料入館者数は令和5年度比106.8%という成果があった。 ・関西空港での出張呈茶、各種周遊イベントへの参画など、積極的に施設のPRに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間来館者数、有料来館者数は令和5年度より増加している。 ・利用者が安心、安全に施設を利用できるよう施設の管理運営を行っていた。 ・未達成項目について、より多くの来館者に来てもらえるような集客事業の実施や、プロモーション活動の強化など、目標達成に向け、より積極的な事業展開を求める。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの